

春日山原始林授業づくりセミナー 第5回 フィールドワーク 概要報告

奈良教育大学研究員 杉山 拓次

実施日：2020年12月12日（土）9:00~15:00

参加者：現職教員等：川崎（途中まで）

学生：川田、川西、木下、山口、長滝谷、北

教育大：杉山、中澤、阪本

読売新聞：元永

■実施場所：春日山原始林・滝坂の道、地獄谷国有林

■実施概要：実施行程は以下の通り。

9:00 春日大社国宝殿前集合

9:00 自己紹介、行程の説明

9:10 春日大社境内・禰宜道周辺（スギやナギ、イチイガシに関する解説）

10:20 白乳神社周辺 首のない石仏と廃仏毀釈について解説

10:40 滝坂の道入口、妙見宮参道前広場にて、五感の体操・森でねころぶ

11:20 寝仏・夕日観音・三体地蔵・滝坂地蔵の確認・解説

11:30 無患子の実の観察

11:50 朝日観音の確認

12:00 首切り地蔵休憩所にて昼食

12:30 地獄谷国有林から高円山ドライブウェイへ

12:40 地獄谷石窟仏の確認

13:10 春日山石窟仏の確認

13:20 高山神社の確認

13:30 春日山遊歩道（南部）を下る

14:50 春日山遊歩道入口へ到着

15:00 解散

■概要報告

春日山原始林の南端を走る旧柳生街道、滝坂の道周辺の石仏を中心に鑑賞しながら歩いた。

参加者には、ルートマップ、石仏に関する資料、ルーペ、希望者に双眼鏡を貸与し、随時観察に活用するよう促した。冒頭は、春日大社境内の鹿燈籠、春日大社境内地の大杉やカミガモシダなどを観察しながら春日大社境内地を上禰宜の道を歩く。

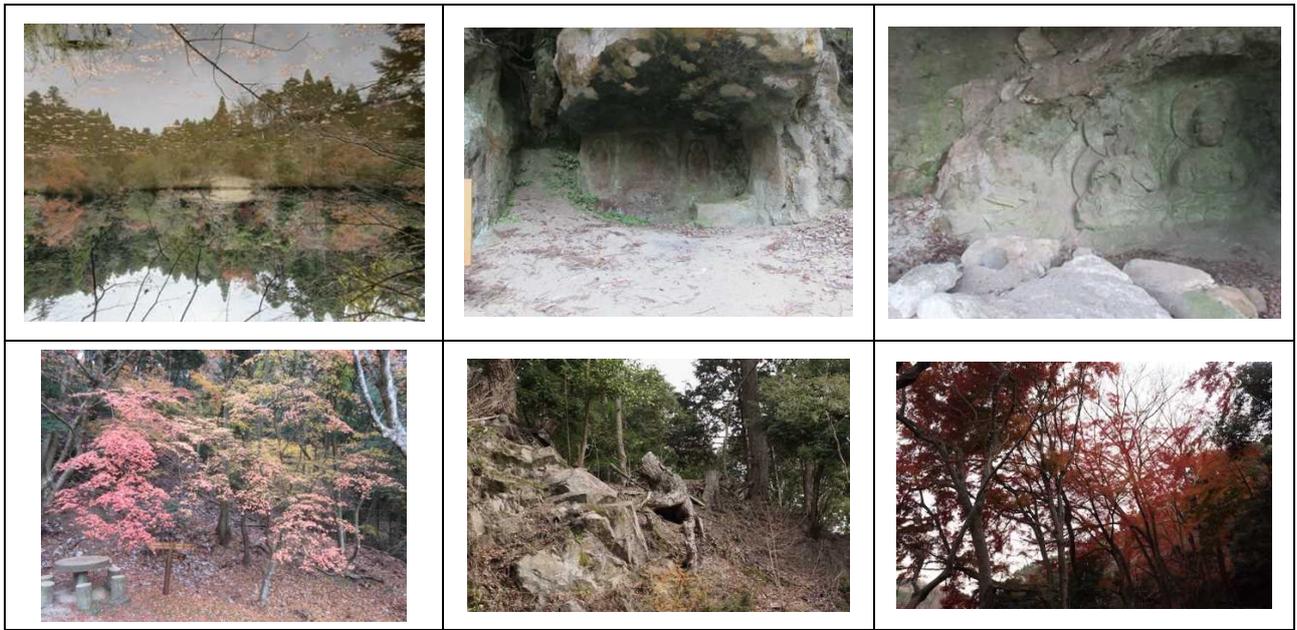
高畑から滝坂の道へ入り、入り口となる妙見宮参道前の広場にて五感を使って森を感じるアクティビティを実施。その後は、石仏のポイントで立ち止まり、双眼鏡等を使って観察するほか、資料を読み上げ、仏像の特徴（表情、衣装、印などの特徴）を確認した。昼食後は、地獄谷国有林から地獄谷石窟仏を鑑賞したのち、春日山石窟仏を鑑賞。当初予定では、滝坂の道を下ることにしていたが、時間的な余裕があったため、遊歩道南部を下山。カエデの仲間（イロハモミジ、コハウチワカエデ等）の紅葉がまだ楽しめ、テーマである「春日山原始林の石仏と紅葉」と合致する内容となった。

■実施したアクティビティ・解説

- ・ 鹿燈籠の観察・ナギについて解説・イチイガシについて・ナンキンハゼについて
- ・ 白乳神社裏の首の折れた仏像と廃仏毀釈・高畑の鹿垣・感性の体操・森で寝転ぶ
- ・ 鹿の採食圧の状況確認（過去写真との比較）・植生保護柵の観察・ムササビの食痕
- ・ カギカズラの観察・寝仏・夕日観音・三体地蔵・滝坂地蔵の確認と解説
- ・ 無患子の泡立て体験・カラスザンショウの実の香りをかぐ・朝日観音の確認
- ・ 滝坂の道大杉の観察・首切り地蔵の観察・首切り地蔵大杉の解説
- ・ 地獄谷新池の解説・タカノツメの落ち葉の香りをかぐ・鹿の樹皮剥ぎの観察
- ・ 地獄谷石窟仏の確認と解説・春日山石窟仏の確認・高山神社の確認
- ・ イロハモミジ等紅葉を楽しむ・コジイの実を観察

■実施風景（写真）





配布資料

春日山原始林フィールドワーク
 奈良公園・春日山原始林の巨樹とどんぐり
 見つけたもの（史跡・自然・風景 etc）をマップに書き込もう

実施日 _____
 氏名 _____